

JENESYS^{2.0}

JENESYS 2.0 在韓公館選抜事業 韓国青年訪日団による外務省訪問

平成26年8月

JENESYS 2.0の一環として、7月29日から8月7日まで訪日した在韓公館選抜事業 韓国青年訪日団約110名が、7月30日午後、外務省の河上アジア青少年交流室長を訪問しました。

冒頭、河上室長から歓迎の言葉を述べ、今回の訪日経験を契機に日本について更に関心を持ち、日本との「つながり」を大切にしたい旨、挨拶しました。

続いて、訪日団を代表して漢陽女子大学日本語通訳科1年生の洪有利(ホン・ユリ)さんが研修の抱負を述べました。洪さんは、日韓が近いという地理的な利点を活かし、両国の文化交流が更に活発になることを願っているとし、今回の事業で学んだことを大学の友人と共有し、ブログなどを通じて韓国に広く伝えていきたい旨、述べました。続いて眞善女子高等学校1年生の李昇ミン(イ・スンミン)さんからも挨拶がありました。李さんは、日韓交流に貢献できる人間に成長するという夢を、JENESYS2.0から踏み出すことができるとし、今回の研修を無駄にせず、学生の立場でできる意思疎通や積極的な交流を行うことを誓う旨、述べました。

その後、質疑応答の時間には、訪日した学生達から、外務省の業務、地方における日韓交流等について質問があり、河上室長から適宜回答しました。

(質疑応答)



(集合写真)

